

特定非営利活動法人アートコラールきくがわ

令和3年度 事業報告

令和3年4月1日～令和4年3月31日

1. 事業成果

「出会いとつながりをデザイン」をモットーに、NPO・行政・学校・企業などをつなぎ、活動をひろげるためのコーディネーター役として、活動をサポートする身近な相談役として、地域活性化に寄与した。また、2020年にオープンした新庁舎東館に活動拠点が移り様々なイベントの開催支援を行うことで、まちの賑わい創出につながった。

(1) 市民活動支援事業

市民活動の相互連携のコーディネーター役として、地域における NPO や行政、学校、企業などの協働を推進する。主に菊川市市民協働センターを受託・運営し、市民活動に関する相談や団体設立の支援をはじめ、市民協働を推進するための各種講座・セミナー開催、広報紙発行やホームページでの情報発信などを実施した。なかでも、中高生向けの人材育成講座の充実や高校生のまちづくり活動への支援をすることで、次世代を担う子どもたちの地域愛の醸成や将来の地域の担い手になるようなきっかけづくりになった。

(2) 芸術文化支援事業

まち×人×アートプロジェクトでは、高校生が地域の人たちと交流を深めながら表現力や発想力、豊かな感性を発揮し、アートの持つチカラでまちの賑わいの創出につなげ、菊川の魅力を発信することができた。また、東京都の NPO やデザイナー、大学生と協働でアートイベントを実施することで関係人口の創出につながり、その後、菊川市の茶産業のイメージアップする事業にも発展するなど、まちに新しい風が吹き込むきっかけをつくった。

(3) まちづくりネットワーク形成事業

中間支援及びアート支援の団体として、これまでの取り組みで培ったネットワークや経験を活かし、中東遠地域をはじめ県内各地において協働のコーディネーター役としての役割を果たした。

2. 実施概要

(1) 市民活動支援事業

① 菊川市市民協働センター受託事業

多様な主体をつなぐコーディネート

市民協働センターと他の関係機関等との交流の活性化

開催日：令和3年7月6日（火）

会 場：菊川市市民協働センター

参加人数：8人

市民協働センター、社会福祉協議会、
菊川市役所社会教育課・長寿介護課・地域支援課

概要：市民の公益的な活動をサポートするボランティア活動支援センター（市民協働センター、社会福祉協議会ボランティアセンター、教育委員会ボランティアセンター等）の連絡会を開催した。また、連絡会の開催以降もそれぞれのセンターが実施する事業等について、情報共有や意見交換を行い、連絡強化を図っている。

市民活動団体交流会「きくせん交流会①」の開催

開催日：令和3年12月4日（土）

会場：プラザきくる3階会議室

対象：市民協働センター登録団体

参加人数：13団体+1企業

概要：菊川1%地域づくり活動審査会の終了後に実施。

センター登録団体の様々な分野の市民活動団体が集まって、団体の紹介や日ごろ困っている課題や、活動概要等についての情報交換を行った。それぞれの活動を知ること、互いに関心を持ち、社会課題の共有やつながりを深める場となった。

市民活動団体交流会「きくせん交流会②」の開催

開催日：令和4年3月19日（土）

会場：プラザきくる3階会議室

対象：市民協働センター登録団体

参加人数：17団体+御前崎市・浜松市の市民活動団体

概要：菊川市1%地域づくり活動報告会の終了後に実施。

センター登録団体の様々な分野の市民活動団体が集まって、団体の紹介や日ごろ困っている課題や、活動概要等についての情報交換を行った。それぞれの活動を知ること、互いに関心を持ち、社会課題の共有やつながりを深める場となった。

ランチミーティングの開催

開催日：令和3年4月1日、7月9日、8月2日、10月1日、12月1日

会場：菊川市市民協働センター（会場及びオンライン）

対象：一般

参加人数：延べ60人

概要：地域のことに関心があり、誰かとつながりたい人や活動をPRしたい人が気軽に集まり、楽しく交流を図った。8月は感染症対策としてオンライン等も活用しながら交流の機会を創出し、連携のきっかけづくりにもつながった。

夕暮れカフェの開催

開催日：令和3年5月6日、7月1日、11月1日、令和4年1月12日、3月11日

会場：菊川市市民協働センター

対象：一般

参加人数：延べ55人

概要：参加者一人ひとりが、自分の職業や関心を持っていること、参加した理由などを紹介した。また、毎回様々な分野で活躍するゲストスピーカーを招き、地域活動や職業で得た知識や経験を分かりやすく参加者に伝えた。

ひろまちコラボ開催のサポート

開催日：毎月第2火曜日
会場：きくる広場～JR菊川駅周辺
参加者：市民、市民活動団体、金融機関、企業等の有志、地域おこし協力隊など
参加人数：延べ約100名
概要：ひろまちコラボは、“ごみ”を“ひろう”ことにより“まち”を広げることテーマに毎月1回早朝30分の活動。ゴミ拾いをしながらの様々な団体や企業等が交流を深め、定期的で開催することで、地方銀行、信用金庫等のCSRとして定着してきた。センター登録団体きくがわ未来会議が主催する事業を全面サポートしている。

企業のCSR活動等の相談対応

実施日：年間を通して
会場：菊川市市民協働センター
参加者：企業、市民活動団体、行政等
概要：地域での活動を考える企業からの相談に、当NPO会員の専門家やCSRリーダーの認定者が応じ、地域での活動のきっかけや他の機関との連携につなげた。インターネットのスキルを持つ企業からの相談で、コロナ禍において、高齢者のワクチン予約のサポートや動画作成をするなど、市との共創事業につなげた。

協働の担い手支援

市民活動スキルアップ講座①

「はじめてのファシリテーション講座」
開催日：令和3年6月6日（日）
会場：プラザきくる3階 会議室
講師：土肥 潤也氏（一般社団法人トリナス 代表理事）
参加者：20人
概要：話し合いを促進したり調整したりする技法であるファシリテーションの基礎知識や、話し合いのプロセス・合意形成の体験等を通じて、ファシリテーションの基礎的なスキルを学んだ。また、受講生の数名が「高校生まちづくりスクール」のファシリテーターとして実践を行っている。

市民活動スキルアップ講座②

「市民ライター講座2021 新聞記者から学ぶ書く力・伝える力」
開催日：令和4年2月22日（月）
会場：プラザきくる多目的エリア
講師：伊藤 さくら氏（静岡新聞社掛川支局 記者）
参加人数：15人
概要：市民活動に関わる人々の、情報発信力を高めるきっかけづくりとして

開催。今回は「新聞などメディアに取り上げられやすいプレスリリースの書き方」を現役の新聞記者から学んだ。基本の書き方を学んだ後はワークショップを行い、実際に書いた記事へ講師からワンポイントアドバイスをももらうなど、今後の活動につながる知識を得ることができた。

第1回コミュニティ協議会 懇話会

開催日：令和3年7月26日（月）

会場：プラザきくる3階会議室

講師：菊川病院感染管理認定看護師 長谷川尚美氏
（株）カインドBiz代表 横石潤一郎氏

ファシリテーター：菊川市市民協働センター長 笠原活世

参加人数：24人（市内11地区コミュニティ協議会役員）

概要：先進事例紹介や情報交換を通じ、各地区コミュニティ協議会のスキルアップや、連携のきっかけづくり等を目的に開催した。令和3年度も、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年通りの活動ができない状況であったため、「コロナ禍におけるコミ協活動」をテーマに情報交換を行った。また、専門家からの情報提供として、菊川病院看護師から感染症予防について、（株）カインドBiz代表から「インターネットの付き合い方」を伝えた。

第2回コミュニティ協議会 懇話会

開催日：令和4年3月1日（火）

会場：プラザきくる1階 町部地区センター

講師：金谷コミュニティ委員会 代表 鈴木久雄氏

ファシリテーター：菊川市市民協働センター長 笠原活世

参加人数：18人（市内11地区コミュニティ協議会役員）

概要：前半は金谷コミュニティ委員会の鈴木久雄代表を講師に招き、無理なく楽しく活動を続ける「チーム五和駅」の活動を紹介。地域資源を活用したコミュニティビジネスアイデアコンテストや、多世代が参加する地域づくり活動について紹介。後半では、参加者たちが今後の活動に向けてやりたいことや地区に伝えたいメッセージを話し合い発表した。

常設的な相談窓口の設置・開設

開催日：年間を通して

会場：菊川市市民協働センター

対象：市民、市民活動団体、行政、学校企業

概要：団体運営で生じる様々な問題に対応するための常設の相談窓口を設置。地域活動のはじめの一步の後押しをはじめ、団体設立、助成金の申請支援、NPO法促進事務に関する手続き、団体間の連携や学校、企業や行政からの様々な相談に応じた。

専門家相談会の開催

概要：市民団体からの経営や資金確保、労務管理等、専門的な相談に対応するため、当NPOの会員が、団体のニーズにあわせた専門的な相談もプロボノとして実施した。

*行政書士NPO相談会

開催日：不定期
会 場：菊川市市民協働センター
対 象：主に市内NPO法人、
専門家：行政書士 滝井浩平氏

*税理士NPO相談会

開催日：不定期
会 場：菊川市市民協働センター、市内NPO法人の事業所
対 象：主に市内NPO法人
専門家：税理士 杉山重人氏

*CSR相談会

開催日：不定期
会 場：菊川市市民協働センター
対 象：SDG sに関心のある企業
専門家：中小企業診断士 勝又 徹氏
理事長：CSRリーダー 笠原活世

*ソーシャルビジネス相談会

開催日：不定期
会 場：菊川市市民協働センター
対 象：ソーシャルビジネスに関心のある市民、市民活動団体等
専門家：ソーシャルビジネスアドバイザー 川端務夢氏

日常相談・専門家相談

会 場：菊川市市民協働センター
対 象：市民・市民活動団体・行政・学校・企業等
相談実績：649件
市民活動団体257件、個人127件、行政139件、学校56件、企業70件
内 訳：団体運営257件、マッチング支援200件、情報発信193件、
事務手続き82件、人材2件、資金調達12件

情報紙の発行 センター広報紙「きくせん通信」

発 行：毎月1回 第3木曜日
配 布：毎回2,000部発行、市内自治回覧、公共施設等に配架。
市民協働センター主催の講座やセンター来館者に配布
概 要：多くの市民に地域活動に関心を持ってもらうため、市民協働センター
主催のセミナー・イベント特集をはじめ、プラザきくる周辺の賑わい事
業の紹介、市民活動団体のイベント案内、菊川で活躍中のひとのインタ
ビュー等を掲載した。

ホームページやSNS等による情報発信

実施日：年間を通して
情報発信数：フェイスブック210件、LINE開設10月
ホームページ更新13件

概要：市民活動団体や社会貢献に関する情報を広く発信することで、市の魅力等につなげるため、情報発信を行った。また、多目的エリアの利用状況や市民活動団体のイベント・セミナー情報などを配信する「LINE公式アカウント」を開設し、特にフェイスブックの利用率の低い、高校生等への登録促進を図っている。

協働への参画機会の拡充

市民協働人材育成講座 シニアライフセミナー

「人生100年時代のインターネットの楽しみ方」

開催日：令和3年5月11日（火）

会場：プラザきくる多目的エリア

講師：横石 潤一郎氏（株式会社カインドBiz）

参加人数：11人

概要：インターネットの利便性から取り残されやすいシニア世代にシニアライフがより充実したものとなるようセミナーを開催。インターネットの基礎知識やインターネットとの上手な付き合い方等をグループディスカッション等で学び、ネットに対する不安解消をした。

きくがわ高校生まちづくりスクール

開催日：令和3年6月25日（金）・9月11日（土）・10月31日（日）
11月27日（土）・12月16日（木）

会場：プラザきくる3階会議室

講師：土肥 潤也氏（NPO法人わかものまち）

参加人数：高校生14人・サポーター5人

概要：第1回：自分を発見しよう！チーム作り

第2回：市内NPOへのインターシップ

第3回：まちづくりってなに？

第4回：中間報告会

第5回：マイプロジェクト会議

第6回：最終報告会

高校生が主体的にまちづくりに参加する機会をつくり、まちのリーダー的な存在になることを目指す全5回講座。高校生自身が自分の好きなことややりたいことなど関心のあるテーマをみつけ、地域課題に取り組むNPOでインターンシップを体験。その後実現可能なプロジェクトを提案・プレゼンテーションで発表し、実際の活動へと展開した。

中高生NPO体験セミナー

事前学習会

開催日：令和3年7月17日（土）

会場：プラザきくる3階会議室

協力：NPO法人うまのあと、キーパーソン 21 静岡チーム

参加人数：中高生75人

概要：夏休みに行われる「中高生NPO体験セミナー」に向けて、参加者にとって

より有効なセミナーとするために事前学習会を開催。
前半はNPOの活動を知ってもらうために、ゲストに市内のNPO法人うまの
あと 小林理事長を迎え、活動の紹介とトークセッションを行った。
後半は、自分らしい未来をつくるキャリア教育を実践しているNPO法人
キーパーソン21の協力のもと、自分をよく知り、自らの意志で行動する
積極性を身につけるワークショップを実施した。

体験活動

開催日：令和3年7月20日（火）～8月28日（土）

*期間中にあわせ、各NPO法人が開催日を設定

会 場：菊川市内各所

参加人数：中高生延べ154人

共 催：市内NPO法人13団体

概 要：中高生に社会貢献活動を身近に感じてもらうことを目的に「中高生 NPO
体験セミナー」を市内各地で開催。緊急事態宣言発令に伴い、やむを得ず
中止になったセミナーもあったが、参加者は外国人の子どもたちへの日本
語指導のサポートや交流をはじめ、環境・福祉・まちづくりやスポーツな
どさまざまな分野の活動を体験。また、高校生まちづくりスクールに参加
した生徒たちは、体験を通して自身が計画する事業へ生かすことにつなが
った。

NPO法人訪問

開催日：令和3年4月20日（火）～5月21日（金）

会 場：NPO法人の各活動場所（事務所）等

対 象：菊川市内NPO法人（18法人）

概 要：市内で活動しているNPO法人の現地に赴き、現状や課題のヒアリング
を行い、今後の活動推進に向けた意見交換や、支援策の紹介を行った。
また、必要な期間があれば必要な関係者につなぐなど、活動の基盤強化
を図るとともに、各団体の活動内容や主催するイベント等の情報を収集
し、きくせん通信やフェイスブックに掲載するなど情報発信を行った。

協働ガイドブック2022発行

概 要：多くの市民に市民活動に関心を持ってもらうきっかけづくりや、団体同
士や企業との協働促進を図るため、センター登録団体87団体の活動概要や
協働事例、企業のCSR活動、協働センターの事業等を1冊にまとめた冊
子を発行した。今回のガイドブックはより見やすくなるようにデザインす
るなどリニューアルした。

掲載団体：80団体

掲載企業：15社

発 行：200部発行。

配布先：市民協働センター登録団体、県内中間支援センター、菊川市役所関係課
企業、公共機関、高校等へ配布

初めてのボランティア（ちょいボラ）講座

外国籍の子どもたちと地元日本人のミニ運動会

実施日：令和3年8月6日（金）

会 場：小笠セントラルパーク

参加人数：小中学生54人

概 要：市内NPO法人が支援する外国人の子どもたちと地元小中学生の交流イベントを小笠セントラルパークで開催。東京オリンピックにちなんだミニ聖火リレーや水鉄砲合戦を楽しんだ。この企画はセンターインターン生の山田ブライアン男さんが、外国人を支援するNPOの実習の場で地域と交流をもちたい子どもが多いことを知り考案。

聖火リレー走者を務めた磐田市の伊藤義広さんや虹の架け橋教室、NPO法人ソヒゾ・デ・クリアンサ日伯交流協会、おやじクラブなどの協力を得て実現。

中学校との連携 ふるさと郷育

実施日：令和4年2月1日（火）

会 場：岳洋中学校

参加人数：中学生10人

概 要：岳洋中学校で開催された「はたらく喜び～ふるさと菊川の未来を創る」にセンター長が講師として参加。

前半は市民協働センターの地域における役割を紹介。

後半のワークショップでは中学生自身が得意なもので地域に貢献するアイデアを出し合い、発表した。

高校との連携 課題解決型キャリア教育 社会人講師の紹介

実施日：令和3年7月2日（金）

会 場：静岡県立小笠高等学校

対象者：総合高校1年生 180人

概 要：高校が実施する課題解決型キャリア教育「菊川のプロフェッショナルに学ぶ 大人を巻き込む企画作り」で授業を行う社会人講師紹介9人（総合高校・9系列）を紹介。

講師は主に人材育成講座修了生など地域で活躍する人が高校生を対象に講話し、その後高校生たちが地域課題を解決するための企画を考案した。また、来年度に向けて地域の大人（茶産業）が年間で高校生に関わるモデル事業を構築するために、コーディネートした。

浜松学院大学から大学生インターンシップ受け入れ

開催日：令和3年4月13日（火）～7月28日（水）毎週火～金曜日

会 場： 菊川市市民協働センター、市内NPO法人の活動会 場等

参加人数：大学生1名

概 要：浜松学院大学から、長期企業内留学学習プログラム（大学生インターンシップ）の受け入れ。学生は市民協働センターの業務全般の補助や市内NPO法人の訪問を経験。また独自の企画としてちょっとボランティア「外国籍の子どもたちと地元日本人のミニ運動会」を実施するなど、地域の活動をサポートし、積極的に協働を生み出すセンターの仕事を学ぶためのサポートを行った。

菊川市役所庁舎東館「プラザきくる」多目的エリアの運用と賑わい創出

時 期：年間を通して

対 象：市民、市民活動団体、学校、企業、行政等

概 要：菊川市の賑わい創出の核となる庁舎東館「プラザきくる」多目的エリアの柔軟な運用や利用促進を図る。

日常業務

- ・ 多目的エリアの運用、利用促進
予約スペース利用延べ1,035人・フリースペース利用延べ27,120人
- ・ イベント情報の収集・整理と発信
- ・ 外部人材との連携支援、新たな活動やコンテンツの創出
- ・ イベントの相談・支援
- ・ 視察の受け入れ20件、視察受入のモデル4件を作成した。

スタッフ研修

概 要：市民協働センターのスムーズな運営と利用者へのサービス向上を目的にスタッフが様々な研修会に参加。

- ・ 4月14日 NPO法人ESUNE主催「ファシリテーター入門講座」参加
- ・ 4月23日 (一社)トリナス主催オンラインセミナーにて菊川市の高校生の取り組みを紹介
- ・ 5月14日 ふじのくにNPO活動センター主催「ICT人材育成講座」参加
- ・ 5月26日 (一財)非営利組織評価センター主催「ガバナンスの考え方」参加
- ・ 7月20日 ふじのくにNPO活動センター主催 中間支援スタッフ研修
～NPOコンサルティング(NPO相談)力～ 参加
- ・ 8月26日 ふじのくにNPO活動センター主催 中間支援スタッフ研修
「NPO法人化の相談対応」
- ・ 9月15日 非営利組織評価センター主催「非営利公益団体が生み出すインクとは」
- ・ 9月16日 ふじのくにNPO活動センター主催 「遺贈セミナー」
- ・ 9月24日 ふじのくにNPO活動センター主催 中間支援スタッフ研修「定款」
- ・ 11月12日 ふじのくにNPO活動センター主催「YouTube Live配信講座」①
- ・ 11月19日 ふじのくにNPO活動センター主催「YouTube Live配信講座」②
- ・ 11月25日 ふじのくにNPO活動センター主催「NPO法人の解散」
- ・ 1月27日 ふじのくにNPO活動センター主催 中間支援スタッフ研修「労務」
- ・ 2月12日 静岡県コミュニティづくり推進協議会
コミュニティフォーラムへ参加
- ・ 2月18日 ふじのくにNPO活動センター主催 中間支援スタッフ研修
「ICT人材育成講座B<第4回>～クラウドファンディングの始め方と実践方法～」へ参加
- ・ 2月24日 ふじのくにNPO活動センター主催 中間支援スタッフ研修
「協働」講義

菊川市賑わいづくり創出事業への協力

実施期間：年間を通じて

会 場：菊川市市民協働センター

概 要：菊川市賑わいづくり研究会の参加(毎月1回)

きくがわ未来会議はじめ市民活動団体との調整等

その他協働推進に関する業務

菊川市協働推進委員会への出席

実施日：令和3年7月13日（火）・12月23日（木）

会 場：菊川市役所東館プラザきくる

概 要：「菊川市協働の指針」に基づく、施策の実施内容及び仁直状況の評価等

菊川市庁舎内協働ワーキンググループへの参加

実施日：8月10日（火）

会 場：菊川市役所東館プラザきくる

概 要：1%地域づくり活動交付金制度について
協働事例や協働手法の共有
市民協働センターの事例紹介 等

菊川市地域づくり活動交付金事業 審査会、報告会への協力

実施日：令和3年12月4日（土）

令和4年3月19日（土）

会 場：菊川市役所東館プラザきくる会議室、多目的エリア

概 要：運営補助

② その他周辺市町の協働推進事業

御前崎市地域協働支援アドバイザー

市民活動団体相談対応日常相談

実施期間：年間を通して

会 場：御前崎市役所、菊川市市民協働センター

概 要：マッチング支援、団体運営、情報発信等

地区センター面談等の実施

実施日：令和3年12月

会 場：御前崎市内8地区センター

参加者：御前崎市各地区会長、地区センター事務長等

対応者：NPO法人アートコラールきくがわ 理事長 笠原活世

概 要：コミュニティ活動についての現状と課題についてのヒアリングをし、
菊川市の事例紹介などをしながらアドバイスをした。

市民活動スキルアップ講座「御前崎未来ゼミ」

第1回「UMANNED 無人駅の芸術祭」から学ぶ地域活性化

開催日：令和3年11月10日（水）
会場：御前崎市研修センター・オンライン
講師：NPO法人クロスメディアしまだ
参加者：12人

概要：無人駅の芸術祭は、アーティスト、集落の住人、来場者など多様な人々が結びつき、創り上げる芸術祭。目的も生きてきた背景も全く違う人たちが地域で出会うーそのつなぎ手であるNPOから地域の再生、活性化のヒントを学んだ。

第2回「やってみたい！」を「やってみよう」へ。みんなで育てるまちづくり

開催日：令和3年11月24日（水）
会場：御前崎市研修センター、オンライン
講師：一般社団法人まきのはら活性化センター センター長 中山史一氏
NPO法人アートコラールきくがわ 理事長 笠原活世
ゲスト：画家JIRO（鈴木次朗氏 御前崎市在住）
参加者：23人

概要：地域を元気にするカギとなるのは、地域に関わるひとりひとり。「人と人のつながり」を真剣に育み応援することで、地域活性化につなげた事例を紹介。後半はゲストが御前崎に移住し、アートをモチーフにした地域の人と関わりについてトークセッション。

中高生NPO活動体験プログラム

開催日：令和3年12月12日（日）・令和4年1月16日（日）
会場：御前崎市研修センター大会議室
協力：NPO法人はまおか日本語教室
概要：NPO法人と連携し、中高生を対象にした人材育成講座を実施した。
第1回：日本語教室外国人の初心者クラスのサポート
高校生たちは在日外国人が日本語を習得するための日本語教室に参加。日本語を教えるほか、ゲームを通して外国人たちと交流した。
第2回：「日本文化の体験」
外国人に日本の文化を体験してもらおうイベント（書道・生け花・抹茶）のサポートしながら異文化交流をした。

御前崎市役所 職員研修

開催日：令和4年2月26日（金）
会場：御前崎市役所会議室
講師：菊川市役所地域支援課 山崎雄太氏
NPO法人アートコラールきくがわ 理事長 笠原活世
対象：新規採用職員、新任係長
参加人数：13人
概要：「NPOとの協働のまちづくり」をテーマに、協働の基本、協働に関する基礎知識の習得と市民協働の考え方や必要性や協働を進めるコツや協働による効果等を伝えた。

ホームページ御前崎市市民活動情報ネットの管理

実施日：毎月15日と月末に更新

概要：ホームページ管理と更新、市民活動団体の紹介やイベント告知等

その他事業

袋井市協働まちづくり推進委員会

出席：令和3年5月9日（日）、令和4年3月15日（火）

会場：袋井市教育会館会議室

島田市協働のまちづくり推進事業審査委員会

出席：令和3年5月30日（日）、令和4年3月27日（日）

会場：プラザおおるり多目的室

(2) 芸術文化支援事業

① 菊川市商工観光課受託事業

アートで巡る「きくがわ灯りの散歩道」onハロウィーン

開催日：令和3年10月30日（土）

会場：菊川赤レンガ倉庫、きくる広場

概要：会場には約400本の竹灯籠が展示され、ハロウィーンに合わせて仮装した子供たちをはじめ約1,500人の来場者で賑わった。

竹灯籠の制作には市民活動団体「たねあかり」を中心に小笠高等学校の生徒や外国人児童、地元の子どもたちが参加した。ハロウィーンのかぼちゃやおぼけなど、可愛らしいモチーフの数々が会場を彩った。

協力：NPO法人里山再生クラブ、小笠高校、NPO法人ソヒゾ・デ・クリアンサ日伯交流協会、NPO法人静岡教育フォーラム

市民活動団体FON旅きくがわ、キクツク、菊川ジュニアビレッジ、菊川市賑わいづくり研究会

参加者：約1,500人

菊川市1%地域づくり活動交付金事業

まち×人×アートプロジェクトみんなで作る 「みんなのアソビバ」

開催日：令和3年11月3日（水・祝）

会場：きくる広場

概要：高校生のチカラでまちを元気にするため、市内2つの高校がコラボレーションして企画。「みんなのアソビバ」は常葉大菊川高校美術・デザイン科の生徒が10種類のアートをモチーフにした遊びを実施し、子どもたちと楽しんだ。「小さな収穫祭」は県立小笠高校の生徒が地元の新鮮野菜やオリ

ジナルジャムの販売などを行い地元の人と交流。当NPOは2校の交流や記念グッズの制作のサポートを行った。

参加者：子どもから大人まで約400人

フリーペーパー「KIKUGAWA ART 2022」発行

概要：常葉大学附属菊川高等学校の未来学講座に参加した高校生が、菊川の魅力を発信することを目的に市内のアートイベントや気になるお店を取材・撮影し、記事を作成。当NPOがデザイン協力し発行。フリーペーパー。全12ページ。

発行：2,000部

常葉大付属菊川中高校生、市民協働センター、公共機関、Café等に配布

協力：常葉大学附属菊川高校

(3) まちづくりネットワーク形成に関する事業

ソーシャルビジネスセミナー

開催日：令和3年9/10・9/17・9/24・9/26・10/1・10/10・10/22（全7回）

事前相談会：8月25日

会場：菊川市役所東館プラザきくる多目的エリア
せんがまち棚田

講師：川端務夢氏、佐藤和枝氏（NPO未来化プロジェクト）

協力：アップル税理士事務所、NPO法人うまのあと

参加者：7人

概要：社会起業家として絶対必要な基礎づくりを行う。全7回。

第1回 ガイダンス&ソーシャルビジネスの概論

第2回 ソーシャルビジネスにおけるマーケティング

第3回 経営に欠かせない思考方法

第4回 会計基礎と資金調達の手法

第5回 社会的課題現場をフィールドワーク

第6回 各自の事業構想をグループ討論 ブラッシュアップ

第7回 事業構想プレゼン

共催事業

きくがわの詩プロジェクト

開催日：令和3年10月30日（金）～令和4年1月中旬

会場：市内10カ所

（菊川市市民協働センター、ニーム、菊川赤レンガ倉庫、
洋菓子工房グリフォン、シイ・ソヒゾデクリアンサ、菊川文庫、
小笠図書館、倉沢ラブリna牧場、菊川文化会館アエル、龍雲寺）

主催：一般社団法人野ノ編集室

協力：NPO法人アートコラールきくがわ

概要：市内10カ所に「詩のポスト」を設置し、市民から「コロナ禍のひとりの時間」をテーマに詩を募集。また、NPO法人ソヒゾ・デ・クリアンサ日伯交流協会協力のもと、ブラジル人学校にて「デザイン×ことば」のワ

ークショップを開催した。当NPOはポストの設置の協力先を選定し、設置の依頼に同行した。

てんてん詩集展

開催日：令和4年5月25日（金）～27日（日）

会場：菊川赤レンガ倉庫

主催：一般社団法人野ノ編集室

協力：NPO法人アートコラールきくがわ

概要：きくがわの詩プロジェクトにて集まった90篇の詩をもとに詩集を制作。

玉川大学芸術学部専任講師や学生が空間デザインした会場にて、詩集の展示や販売を実施した。また、グリーンモールへ詩の一節をデザインした「詩ののれん」を掲示した。当NPOは常葉大学附属菊川高校や美術連盟などへのデザイン協力や市との調整を図った。